

水産庁 × 工学系

業務紹介

水産庁漁港漁場整備部

【対象試験区分】

総合職試験（院卒者試験、大卒程度試験）：工学、デジタル、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、人間科学、教養
一般職試験（大卒程度試験）：土木、建築、機械、デジタル・電気・電子、物理
一般職試験（高卒者試験）：技術 関東甲信越、農業土木、林業

contents

1. 工学系人材の活躍の場
2. 農林水産省／水産庁の組織
3. 施策紹介
4. 職員のキャリアパス・メッセージ
5. ワークライフバランス
6. 採用に関するQ & A
7. 漁港漁場整備部長からのメッセージ

日本は、世界有数の漁業大国です。

水産資源の減少や海洋環境の変化等により漁獲量の減少が続いている一方、水産物の需要は世界的に拡大しており、我が国の水産業は大きな成長のチャンスを迎えています。

水産庁は、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化の両立を目指し、

- ・科学的な根拠に基づく資源管理体制の構築
- ・二国間、多国間の国際交渉
- ・スマート水産業の実現
- ・マーケットインの発想に基づく水産物の輸出促進や消費拡大
- ・漁港の防災・減災対策
- ・海業の推進による漁村の活性化

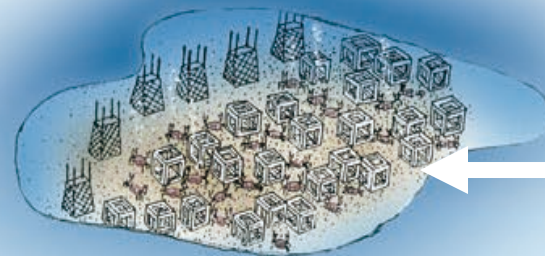
などにリーダーシップをとって対応しています。

1. 工学系人材の活躍の場

日本の沿岸部には、約2,800の漁港と約6,000の集落が存在しています。

水産業の健全な発展と水産物の安定供給を図るためには、漁港や漁場の総合的かつ計画的な整備の推進と、豊かで住みよい漁村の振興が求められています。

これらの実現をめざし、水産庁において、工学系の人材は主に漁港・漁場・漁村・海岸のフィールドで活躍しています。



水産資源を守り増やす漁場



水産業の拠点となる漁港



生活の場・賑わいの場である漁村



漁村・国土を守る海岸

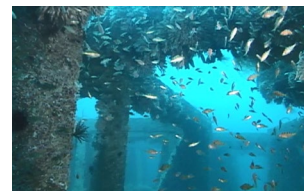
2. 農林水産省／水産庁の組織



計画・海業政策課

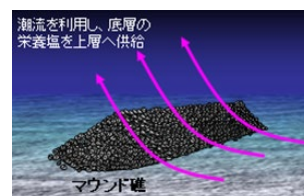


衛生管理型魚市場の整備



漁場の整備

事業課



国直轄の漁場整備



漁港の維持管理

防災漁村課

水産施設災害対策室

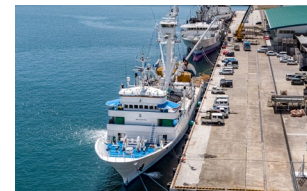


避難施設の整備



藻場の造成

漁港行政の企画、漁港漁場の整備計画、海業の推進、漁港の管理等を行っています。



岸壁の整備



漁港の耐震・耐津波化



海業の振興（直販所）

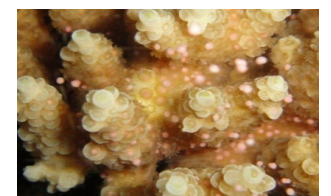


漁村の生活環境の整備

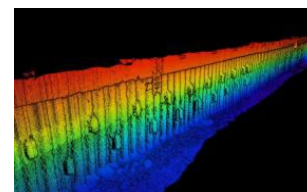
漁港漁場整備事業を行う地方公共団体等に対する指導監督・助成、国直轄の漁場整備等を行っています。



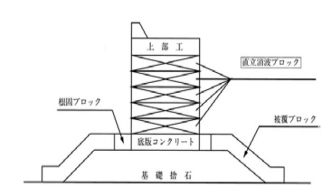
国直轄の漁場整備



サンゴ増殖技術の開発



漁港の維持管理



設計・積算基準の作成

漁港漁村海岸関係事業の計画及び指導監督、水産関係施設の災害復旧等を行っています。



漁港海岸の整備



水産関係施設の災害復旧



干潟の造成



災害時の流木の回収

3. 施策紹介

輸出の促進

世界人口の増加等により世界の水産物の需要が増大している中、輸出は国産水産物の販路拡大につながる重要な手段となっています。一方で、食の安全・安心に関する意識が全世界的に高まってきており、輸出先国が求める品質・衛生管理の水準に適切に対応していくことが求められています。水産庁では高度衛生管理や安定的な水産物供給のための養殖生産拠点づくり等を行い、輸出の促進を図っています。



ブリの陸揚げ
(鹿児島県高輪漁港)



漁港周辺のクロマグロ養殖
(長崎県尾崎漁港)



衛生管理型魚市場 外観
(神奈川県三崎漁港)



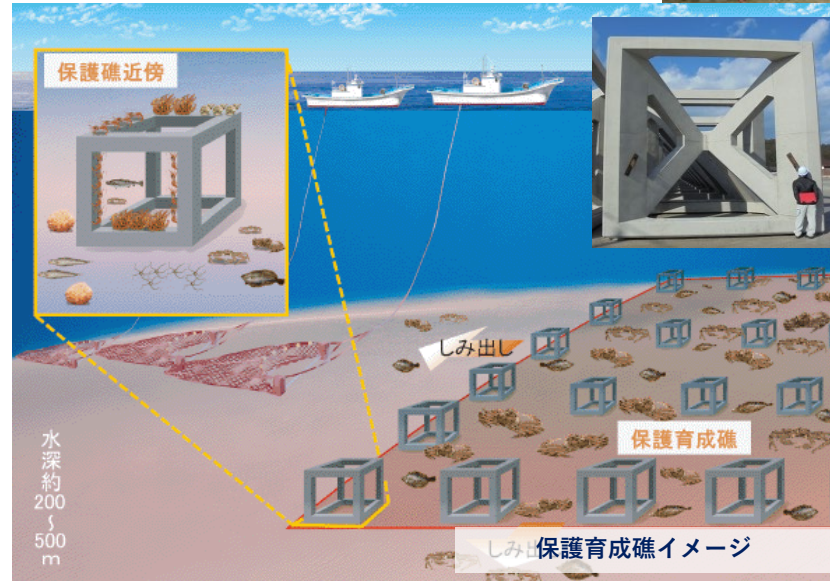
内観

国直轄の漁場整備

沖合域はアジ、サバ等の多獲性浮魚類、スケトウダラ、マダラ等の底魚類、ズワイガニ等のカニ类等、我が国の漁業にとって重要な水産資源が生息する海域です。水産庁では排他的経済水域においてズワイガニ等の産卵や育成を促進する保護育成礁や海域の生産力を高めるマウンド礁の整備を自ら行い、水産資源の増大を図っています。



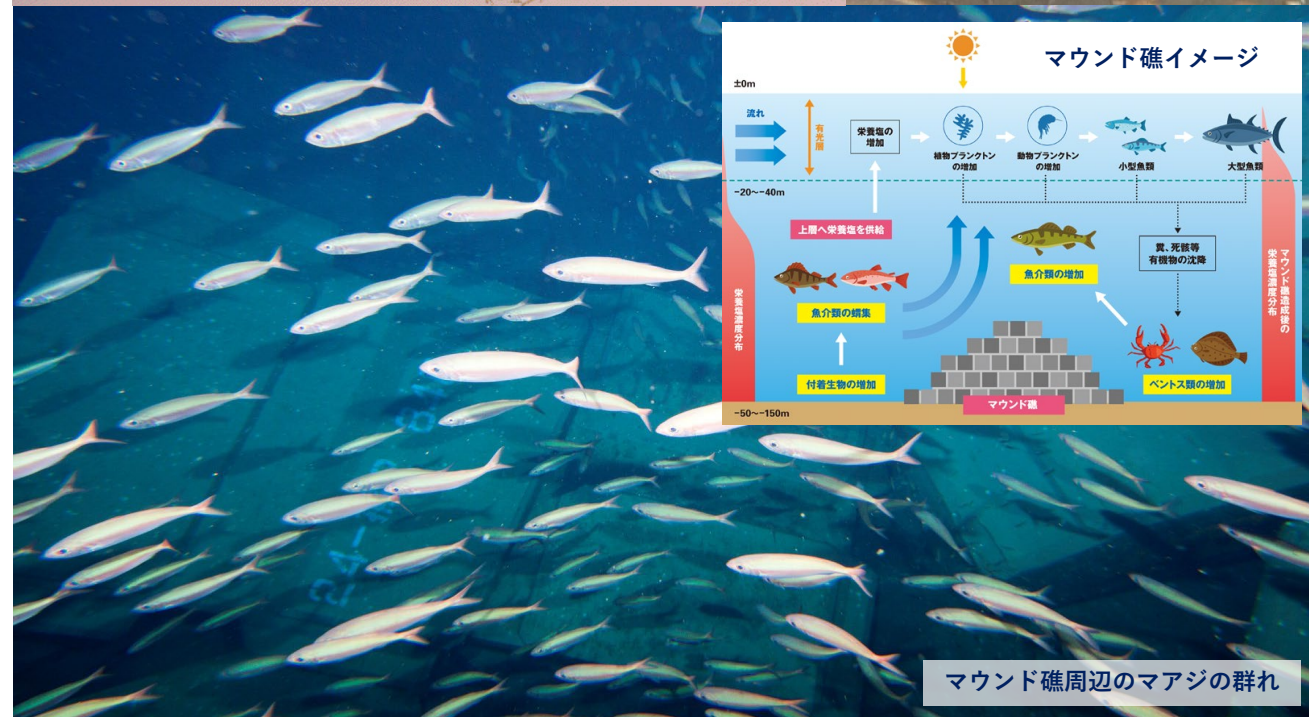
保護育成礁（鋼製）



保護育成礁内のアカガレイ



保護育成礁内のズワイガニ



マウンド礁周辺のマアジの群れ

3. 施策紹介

「海業」の推進

水産庁では海や漁村の地域資源を活用し水産物消費や交流を促進する事業を「海業（うみぎょう）」と定義しています。漁港での水産物の販売や料理の提供、遊漁、漁業体験等の海業の取組を推進・普及し、地域の所得と雇用の機会の確保を目指しています。漁港を活用した海業の推進等のため、令和5年5月に漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の改正を行いました。これにより、更なる漁村の活性化を目指しています。



漁港内の海上釣堀施設
(福井県内外海漁港)



ふれあい体験
(和歌山県太地漁港)



水産物直売等施設
(和歌山県箕島漁港)



漁業体験
(大阪府田尻漁港)



漁港の用地を活用した陸上養殖
(沖縄県前兼久漁港)

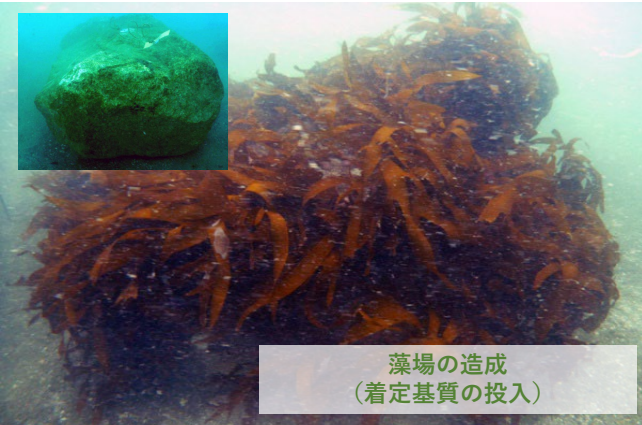


海業親善大使
ぎょっこん

漁港でのサーモン養殖
(青森県北金ヶ沢漁港)

藻場・干潟の保全・創造

藻場・干潟は海域において豊かな生態系を育む機能を有するほか、水産生物の生育にとって非常に重要な役割を有しています。また、海洋生態系に貯留される炭素、いわゆるブルーカーボンが注目され、カーボンニュートラルに向けた対応が求められる中、藻場・干潟は二酸化炭素の吸収源としての機能も重要視されています。水産庁ではハードとソフトの両面から藻場・干潟の保全・創造を推進しています。



藻場の造成
(着定基質の投入)



アマモの花種採取
(長崎県深江地区)



藻場に蛸集する魚



干潟の造成（覆砂）



干潟の耕うん

4. 職員のキャリアパス・メッセージ

河合 萌子（かわい もえこ）



キャリアパス

- 令2.4 水産庁漁港漁場整備部整備課（係員:入省 1 年目）
- 令3.4 水産庁漁港漁場整備部計画課（係員:入省 2 年目）
- 令5.4 大臣官房新事業-食品産業部食品製造課（係長:入省 4 年目）

メッセージ

水産庁の雰囲気の良いと、全国各地に漁港というフィールドがある点に魅力を感じて入庁しました。何度か出張（宮城県気仙沼市や長崎県の五島・壱岐・対馬、神奈川県の大磯漁港など）に行かせてもらい、漁港の災害復旧の現場や、高度な衛生管理がなされた荷さばき所・加工場の整備状況を見ることができました。こうした経験は、だんだんと日々の業務に活かしている気がします。

水産庁に工学系の職種があるのは意外かもしれませんが、漁港・漁場の施設の計画や設計に関わる「土木」らしい業務の他にも、自然環境や生物、地域振興等、いろいろな視点から取り組める業務がたくさんあります。工学系の皆さんの知識を活かしますし、興味惹かれる業務がきっとあると思います。ぜひ一度説明会などに来てみてください！

佐渡 拓海（さど たくみ）



キャリアパス

- 令2.4 水産庁漁港漁場整備部防災漁村課（係員:入省 1 年目）
- 令4.4 岩手県沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター（技師:入省3年目）

メッセージ

1年目は漁港漁場整備部防災漁村課に配属され、海岸保全施設の整備に関わる海岸事業に携わりました。

2年目は同じ防災漁村課内ではありますが、漁港・海岸等の災害復旧に関わる水産施設災害対策室に異動し、漁港施設等の被災からの復旧に向けて、被災した漁港へ査定に行くなどの災害復旧業務を担当しています。査定では様々な現場を近くから自分の目で見ることでとても貴重な経験を積むことができました。現在は岩手県で工事発注や監督業務などを担当し、漁港管理の業務も行っています。

水産庁では様々な業務に携わることができるので日々成長し続けられると思います。先輩方は親切な方が多く、働きやすい環境が整っていると思いますので、ぜひ一度水産庁にお越し下さい。

山地 智司（やまじ さとし）



キャリアパス

- 平31.4 水産庁漁港漁場整備部計画課（係員:入省 1 年目）
- 令 2.4 水産庁漁政部企画課（係員:入省 2 年目）
- 令 4.4 国土交通省九州地方整備局下関港湾空港技術調査事務所（係長:入省 4 年目）
- 令 6.4 水産庁漁港漁場整備部計画課（係長:入省 6 年目）

メッセージ

2、3年目に漁政部企画課に配属され、水産エコラベルの普及推進や水産物の消費拡大など、水産分野の業務を経験しました。また、農林水産省内のプロジェクト「BUZZ MAFF」にも参画し、職員の個性や発想を生かした水産物・水産業の魅力発信にも挑戦しました！

4、5年目には国土交通省九州地方整備局に出向し、主に港湾施設の設計に取り組みました。土木工学の専門的な知識が要求される業務であり、漁港と港湾の違いはあれど、自らの専門性を高め、土木技官として大幅にスキルアップできたと実感しています。

私たちの職場では数年毎に部署が変わるため、様々な分野で経験を積むことができます。私自身も土木分野だけでなく、水産分野や広報関係などの業務を経験してきました。皆さんも様々な業務に携わりながら、自らの可能性を広げられるチャンスがあると思うので、ぜひチャレンジして下さい！

提箸 真弘（さげはし まさひろ）



主なキャリアパス

- 平28.4 水産庁漁港漁場整備部整備課（係員:入省 1 年目）
- 平29.1 水産庁漁港漁場整備部計画課（係員:入省 1 年目）
- 平31.4 水産庁漁政部漁政課（係員:入省 4 年目）
- 令 2.4 国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所（係長:入省 5 年目）
- 令 4.7 水産庁漁港漁場整備部整備課（係長:入省 7 年目）
- 令5.10 育児休業（係長:入省 8 年目）
- 令 6.5 水産庁漁港漁場整備部防災漁村課（課長補佐:入省 9 年目）

メッセージ

水産庁に入庁後、9年間で主に6つの部署を経験しました。水産分野、土木分野に限らず、水産庁内外の幅広い分野に携わりながら、自らの専門性を高めていけることが水産庁工学系職員の魅力です。

多様な業界、業種の方々と接し、それぞれの立場や事情を知って、自分にできることを考え、実行する。初めて関わる分野にも挑戦しながら、関係者と協力して、行政上の課題を解決へと導く。そんな業務を経験してみたい方、日本の水産物安定供給の未来を担うインフラ整備に取り組んでみませんか。

「色んな職場で、色んな人と、色んな仕事をしてみたい！」という皆様をお待ちしています。

4. 職員のキャリアパス・メッセージ

本宮 佑規（もとみや ゆうき）



主なキャリアパス

平24.4 水産庁漁港漁場整備部計画課（係員:入省1年目）
平26.4 国土交通省四国地方整備局港湾計画課（係長:入省3年目）
平29.6 米国コーネル大学大学院公共政策学科留学
（係長:入省6年目）
令元.6 水産庁漁港漁場整備部計画課（係長・計画官:入省8年目）
令4.4 水産庁漁港漁場整備部防災漁村課（課長補佐:入省11年目）
令5.7（独）日本貿易振興機構上海事務所（部長:入省12年目）

メッセージ

入省6年目からのアメリカ留学時は、インフラ政策を中心に、職務に関連する多様な分野（リスクマネジメント・物流・食品安全・国際開発等）について研究しました。水産庁に戻ってからは、入庁時に最も取り組みたかった水産生物の生息場を回復・創出させる漁場整備（海域環境の改善対策）を担当しました。

漁港漁場整備部では、輸出促進、環境変化に伴う不漁対策、赤潮や軽石等の災害対応、漁村を拠点とした地域活性化（海業）、カーボンニュートラル等、海を取り巻く、広範かつ重要な課題に携わることができるのが魅力です。

複雑な政策課題解決のため、皆様と力を合わせて、より良い施策を立案・実行する日を心待ちにしております。

塚本 邦芳（つかもと くによし）



主なキャリアパス

平21.4 水産庁漁港漁場整備部整備課（係員:入省1年目）
平24.4 林野庁森林整備部計画課施工企画調整室
（係員:入省4年目）
平26.4 国土交通省北海道開発局根室港湾事務所
（専門官:入省6年目）
平28.4 水産庁漁港漁場整備部計画課（専門官:入省8年目）
平31.4 外務省在ペルー日本国大使館（二等書記官:入省11年目）
令4.4 水産庁漁港漁場整備部整備課（課長補佐:入省14年目）
令5.4 国土交通省国土政策局離島振興課（課長補佐:入省15年目）

メッセージ

入省11年目からの在外公館勤務では外交官として、ペルーの発展を支援する開発協力、日本産農林水産物・食品の輸出促進、日本企業支援、日本食普及等の業務を担当しました。現在は国土交通省に出向し、離島振興法に基づく全国の離島の振興に係る業務を担当しております。

今般の社会情勢と同様、国家公務員を取り巻く情勢は刻々と変化していますが、国を支えるあるいは成長させるため、いつの時代でも国家公務員は必要不可欠な存在です。その重要性を感じながら、私たちは日々の業務に取り組んでいます。明日の我が国を創るため、苦楽をともにできる皆様をお待ちしております。

河野 大輔（かわの だいすけ）



キャリアパス

平19.4 農林水産省総合食料局流通課卸売市場室
（係員:入省2年目）
平24.4 水産庁防災漁村課（係長・災害査定官:入省7年目）
平26.4 国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室
（専門調査官:入省9年目）
平28.7 水産庁漁港漁場整備部計画課（計画官:入省11年目）
平31.4 石巻市役所産業部（次長（水産振興担当）:入省14年目）
令4.4 水産庁漁港漁場整備部計画課（課長補佐:入省17年目）
令6.7 農林水産省農村振興局整備部農地資源課
（課長補佐:入省19年目）

メッセージ

東日本大震災での最大の被災地である宮城県石巻市に出向し、市の水産業全般を担当しました。市の水産業復興のため、地元の漁業者さんや水産加工業者さんたちと連携し、石巻産食品の海外輸出や、低・未利用魚の活用、陸上養殖の実証試験等に取り組みました。市議会では、水産庁からの出向者の立場から発言を求められることもあります。写真の背景は、ギネスに世界一の長さで申請し認定された石巻魚市場です。

水産庁には、水産業が海洋環境や社会情勢の変化に対応するための多岐にわたる仕事があります。国家公務員として水産業以外の仕事（私は、卸売市場の整備、国交省のインフラ整備に係る調査、農地周りの地域資源の保全等に携わりました）を経験することもあるでしょう。皆さんの力を発揮できるフィールドが広がっています。

佐々木 真一郎（ささき しんいちろう）



主なキャリアパス

平6.4 水産庁漁港部防災海岸課（係員:入省1年目）
平10.4 農林水産省構造改善局地域計画課（係員:入省5年目）
平14.4 千葉県銚子漁港事務所（技師:入省9年目）
平17.4 水産庁増殖推進部漁場資源課（係長:入省12年目）
平21.4 在サンパウロ日本国総領事館（副領事:入省16年目）
平24.4 国土交通省北海道開発局釧路港湾事務所
（係長:入省19年目）
平30.4 水産庁境港漁業調整事務所（課長:入省25年目）
令3.4 国土交通省北海道局農林水産課（専門官:入省28年目）
令6.4 水産庁漁港漁場整備部防災漁村課（課長補佐:入省31年目）

メッセージ

水産庁では漁港漁場・海岸整備事業の許認可、排他的経済水域での漁場整備や漁業者の皆さんと直接話し合いながら行う水産資源の管理、漁業調整、能登半島地震の被災地での災害査定を経験し、現在は災害復旧事業の実施に関する業務を担当しています。

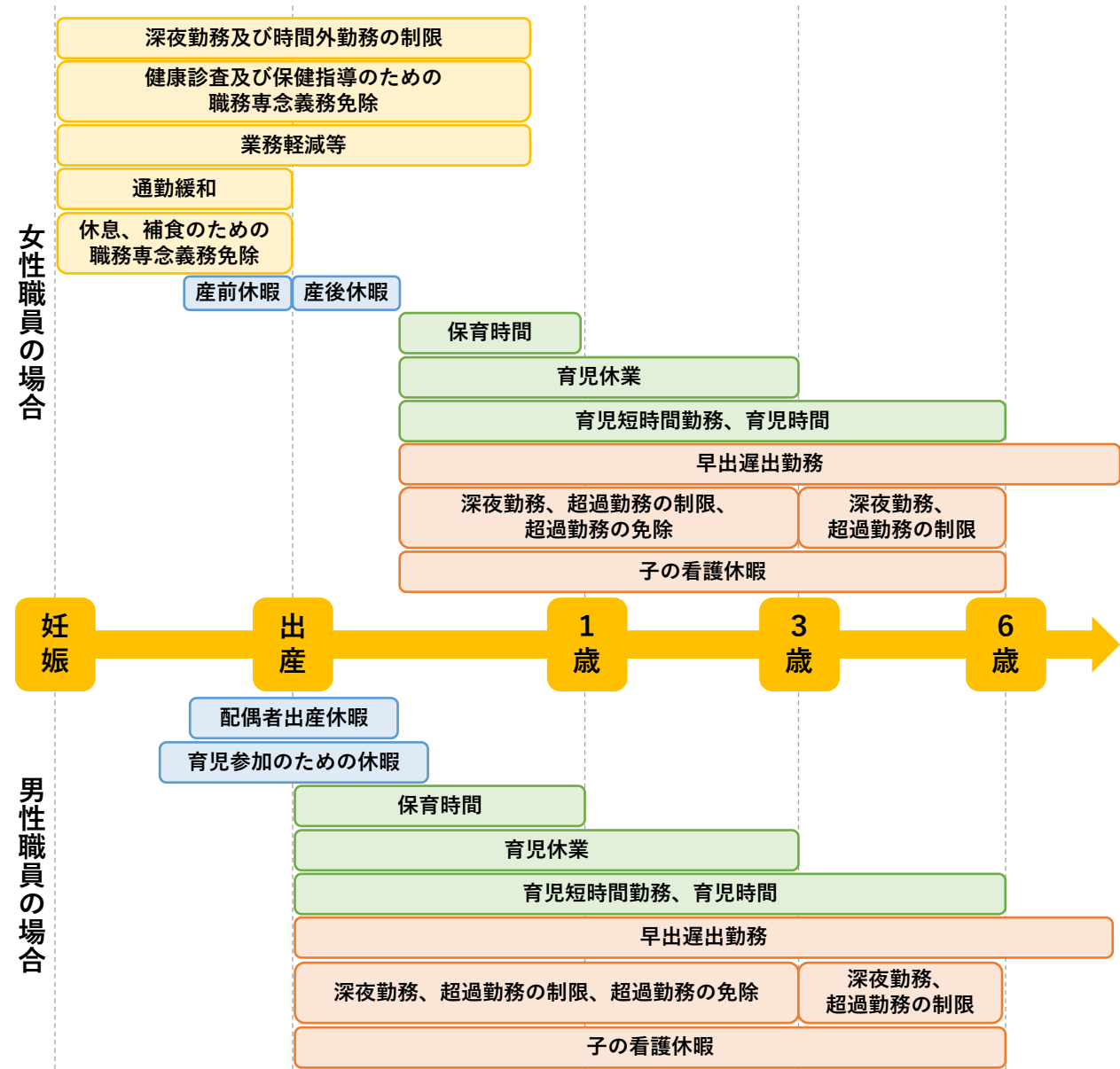
出向先では県職員として所管事業の工事発注・監督業務を担当したほか、在外公館で水産・農業・港湾・鉄道インフラに関する情報収集や経済協力を経験しました。

私たちと一緒に日本・世界を飛び回り、大きく視野を広げてみませんか。

5. ワークライフバランス

国家公務員には、仕事と育児・介護等との両立を可能とするための様々な支援制度があります。
水産庁では、ワークライフバランスを実現するため、これらの制度の活用を推進しています。

育児に関する両立支援制度の利用可能期間



育児等に活用できるの制度の例

産前休暇	産前 6 週間前（多胎妊娠の場合には 14 週間前）から休暇取得できる制度
育児休業	3 歳未満の子供を養育するために休暇取得できる制度（3 年まで）
育児短時間勤務	子を養育するため、週 38 時間 45 分より勤務時間を短縮して勤務することできる制度
早出遅出勤務	始業・終業時刻を変更して勤務できる制度（未就学児の養育、小学生の児童クラブへの送迎等）

制度を活用し活躍している職員の紹介



水産庁漁港漁場整備部
事業課設計班 課長補佐

田村 真弓

現在、5 歳と 2 歳の子供を育てています。育児休業は、長男は 2 年半、次男は 1 年取得し、現在は、**育児短時間勤務**（9 時 30 分～ 16 時 30 分）を活用しています。

仕事は、時間的な制約はありますが、目標を持って、自分なりのやり方で育児との両立を模索しています。支援制度の活用には、職場の理解や周囲の協力が不可欠ですが、復帰後多くの先輩方から助言や励ましの声をかけてもらい、今に至ります。

水産庁は、ズバリ、子育てしながら仕事を続けられる職場だと思います！私自身も子供たちと過ごす時間を大切にしながら、公私ともにステップアップしていければと思っています。

皆さん是非官庁訪問にお越しください!!



水産庁漁港漁場整備部
計画・海業政策課海業企画班 係長

宮園 千恵

早出遅出勤務（7 時～15 時 45 分）を活用しています。早い時間に出勤することで自分のペースを確保して仕事を進めることができ、また、早く帰ることもできるので子供のお迎え時間も確保しつつ、家事をしたり子供の宿題をみたりと、家庭との両立を自分なりにこなしています。

この他にもテレワーク等の柔軟な働き方も可能ですので、私の場合は子どものイベント時によく利用しています。こういった様々な制度も、職場の理解や協力があるからこそ利用できていると感じており、とても助かっています。

職場の雰囲気を知ることのできる良い機会ですので、ぜひ一度官庁訪問へお越しください。



水産庁漁港漁場整備部
防災漁村課漁村企画班 課長補佐

提箸 真弘

出産日に合わせて**配偶者出産休暇**を取得した後、続けて育児休業制度を 7 か月間利用しました。

出産に立ち会えたことで夫として多くの学びを得ました。また、その後の育児に奮闘する毎日は、保育の体制づくり、育児スキルの習得、産後の体調回復中の妻のケア等、やる事が盛り沢山で、試行錯誤の連続でしたが、家族と向き合えたかけがえのない時間となりました。その時期に育児に専念できて本当に良かったと思っています。

福利厚生がきちんと活用されているかという点でも、水産庁はお勧めできる職場だと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

6. 採用に関するQ&A

Q1. 求める人物像は何ですか？

A1. 周囲の人とコミュニケーションをとり、力を合わせて仕事をやり遂げることができる人物、新たな課題にも積極的に取り組むことができる人物を求めています。
試験の合格順位よりも面接を重視し、出身大学や専攻分野は関係ありません。

Q2. 仕事の特徴はありますか？

A2. 漁港漁場整備部では、自然環境、食、暮らし、産業に関わる幅広い事業や調査を行っています。
そのため、個人や各グループが担当する業務内容が多岐にわたり、一人ひとりが担う役割が大きく、やりがいのある仕事です。

Q3. 主な勤務先及び勤務地はどこですか？

A3. 主に水産庁漁港漁場整備部（計画・海業政策課、事業課、防災漁村課）に勤務する他、農林水産省の他部局、研究所、他府省、地方公共団体、在外公館、国際機関等への勤務があります。
個人差はありますが、転勤を伴う出向の機会は比較的少なく、地方勤務よりも在京勤務の期間が長い人のほうが多いです。

Q4. 水産分野に詳しくないけど問題ないですか？

A4. 問題ありません。学生時代の専門分野と担当する業務が関連しなくとも、入省後の研修や業務の中で少しずつ経験を積みながら知見を深めてもらいます。新しいことでも常に意欲的に学んでいただくことを期待しています。

【主な工学分野と関連する施策】

土木・建築 ・機械工学等	■ 漁港や海岸等のインフラ整備 ○水産物の品質・衛生管理が可能な施設整備 ○安全・安心に働くための漁港整備 ○地震、津波、台風、高潮等の防災対策 ○水産インフラの維持管理と有効活用 等
環境 ・生物工学等	■ 漁場の整備 ○ 資源管理に対応した水産資源の保護・育成 ○海洋環境の変化に応じた漁場造成 ○ 藻場・干潟の保全・回復 等
社会工学等	■ 漁村の活性化 ○ 魅力ある漁村づくり（海業の推進、インフラ整備） ○ 離島など条件不利地域への対応 等
機械・情報工学 等全ての分野	■ 技術開発 ○ 漁港漁場整備のICT技術やロボット技術の活用 等

Q5. 仕事の内容は何ですか？

A5. ■我が国の将来を見据え、指針・方針を定めること
①法令の制定・改正
②政府の方針を示すグランドデザイン（長期計画）の策定
③設計基準や積算基準の整備
■地方自治体や水産関係団体等への支援をすること
①事業制度の構築
②地方自治体への支援等に必要な予算の準備、執行
③地方自治体等が実施する事業の指導・検査
■その重要性を鑑み、国（水産庁）自ら漁港・漁場の整備や新技術の開発を行うこと
①国の直轄による漁港や漁場の整備
②漁港や漁場の整備に関する新技術の開発
などが主な仕事であり、このために様々な関係者とともに、調査、企画・立案、調整・説明等を行います。

Q6. 職場の雰囲気はどうですか？

A6. 農林水産省の中でもとくに水産庁は、昔から和やかな雰囲気が特徴です。仕事のオン、オフの区別をつけ、コミュニケーションの活発な職場です。

※この他、研修制度、育児等の支援制度などについては、農林水産省の採用パンフレットやHPをご覧ください。



農林水産省採用案内ページ



7. 漁港漁場整備部長からのメッセージ

漁港漁場整備部長

中村 隆（なかむら たかし）

（昭和43年生まれ 山口県出身）



略歴

- 平 6. 4 農林水産省入省（1種土木）
- 平29. 4 長崎県水産部参事監（漁港漁場計画・漁場環境担当）
- 令 2. 4 水産庁漁港漁場整備部防災漁村課
水産施設災害対策室長
- 令 4. 6 水産庁漁港漁場整備部整備課長
- 令 5. 7 水産庁漁港漁場整備部計画課長
- 令 7. 1 水産庁漁港漁場整備部長（現職）

私は学生時代に交通工学を学んだ後、新卒で山口県庁に入りました。その後、「産業振興と地域振興が一体となった施策をやりたい」という思いから30年ほど前に水産庁に入庁しました。

入庁後は、東日本大震災や能登半島地震といった震災が起きれば現地を訪れて被災地の復旧を支援したり、法律を改正して排他的経済水域での大規模漁場整備の事業を創設したり、関係省庁と連携して行った我が国全体のブルーカーボン生態系によるCO2吸収量の算定や国連への提出に関わったりと他の進路ではなかなか経験できなかったであろう業務に携わることができました。国の役所では、制度を活用して日本全体に渡る課題や各地域と一緒に進める課題に取り組むこともできれば、新しい仕組みを作り既存制度を時代に合うように変えていくこともできます。就職活動をしていた頃の自分に会って話ができるなら、水産庁に入ってやっぱり良かったよと心から伝えることができます。

他方、国家公務員の働き方については、皆さんの気になるところだと思います。長時間労働のイメージが強かった霞ヶ関ですが、現在では随分変わってきました。今や残業削減や有給休暇の取得は職場の共通する目標になっており、ライフワークバランスのため、業務の効率化やテレワークを推進し、福利厚生制度を充実させています。

特に、漁港漁場整備部では職員一人一人の事情を聴き取って、勤務地（海外含む）、育児、介護等の希望を極力実現するよう努めています。育児休業でいえば、数ヶ月～数年の長期取得を男女ともに進めています。職員一人一人の事情や希望を尊重する風土を組織として作ってきました。

水産庁工学系の業務分野は幅広く、各職員のバックグラウンドも多様です。業務の内容を見ていただいて、気になる施策がありましたら、職員の話の聞いたり、職場見学をしたりしてみてください。

皆さんを心よりお待ちしております。

（問い合わせ先）

水産庁 漁港漁場整備部 担当：浜崎、提箸

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1

電話：代表 03-3502-8111 内線 6883

場所：農林水産省 本館8階 ドア番号 本814



水産庁工学系採用案内ページ